

シグマ委員会炉定数専門部会 JENDL 積分評価WG  
ドシメトリー SWG 議事録

1. 日時： 昭和63年11月29日(火) 13:30~17:00
2. 場所： 原研東海研究所 研究2棟 221号室
3. 出席者： 岩崎(東北大)、中沢、井口(東大)、小林(京大炉)、池田、桜井、中川(原研)
4. 配布資料
  - DS-12 本WGの活動経過と今後の予定 (中沢)
  - 13 JENDLドシメトリーファイル用 NB-93(n,n')Nb-93m  
断面積の評価 (桜井)
  - 14 積分テストの仕様書 (中川)
  - 15 Review of Fe-58 Capture Cross Section for JENDL-3M  
(飯島、中川)
  - 16 Fe-54(n,p), Fe-56(n,p) and Ni-58(n,p) cross-section  
for JENDL-3M (同上)
  - 17 放射化法による平均断面積測定と計算法の現状 (小林)
  - 18 The Status of the Cf-252 Neutron Spectrum as a Standard,  
W. Manhart (同上)
  - 19 D.E.Cullen による IRD-82 テスト例 (NSE83,497,'83) (同上)
  - 19' Evaluation of the neutron spectrum of spontaneous fission  
of Cf-252, W.Manhart,1987 (同上)
  - 20 J3TDF の積分チェック (CFRMF,YAYOI) (井口)
  - 21 A Test of JENDL-3 Dosimetry Cross Section by Using  
Integral Experimental Data at FNS (池田)
5. 議事
  - (1) 経過報告等  
本サブWGの活動経過につき資料 DS-12 によりレビューされた。また、核データ国際会議(水戸)以後の作業結果として桜井氏より Nb-93(n,n')反応の評価結果が資料 DS-13 により報告され、12月の核データ研究会の発表が了承された。
  - (2) 委託による積分テストの進め方について  
委託作業の内容につき資料 DS-14 により中川氏から報告され了承された。この作業を進めるに当り次のようなコメントがなされた。

- ①資料 DS-15,16 にある通り、昨年の本グループのテストでおかしいと思われた反応については訂正版が出ている。 (飯島、中川)
- ②標準場特に Cf-252 のスペクトルの評価は、W. Manhart のレビュー (DS-18) と最近の数値レポート (DS-19') に集大成されているからこれを用いる。(共分散も入っている。) (小林)
- ③平均断面積算出における共分散の取扱い (DS-17) 及び Cullen による IRDF-82 のドシメトリーベンチマークテスト例 (DS-19) が例示された。(同上)
- ④CFRMF および YAYOI でのベンチマークテストにつきデータの現状が報告された。(井口)
- ⑤原研 F N S におけるベンチマークデータ例が示され、いくつかの標準標準場につき今回の積分テストに含めることとし、データ提供を進めることとした。(池田)

なお、上記コメントに従い、各ベンチマーク場の反応率データ、およびスペクトルとその共分散等の提供を次のようにお問い合わせすることとした。

U-235, Cf-252 核分裂スペクトル関係	.....	小林氏
ISNF, CFRMF, YAYOI, BIG-10, $\Sigma \Sigma$	.....	井口、中沢氏
14MeV 中性子	.....	池田氏
D + Li 等高エネルギー中性子 (*)	.....	岩崎氏
(*).....次年度に計画		
Nb-93(n, n') 反応断面積	.....	桜井氏
Au-198(n, $\gamma$ ), In-115(n, n'), Rh(n, n') 反応評価	.....	募集中

また、今回の作業を進めるに当り、現場で具体的問題のサポートを池田氏、桜井氏にお問い合わせすることとした。

(3) 今後の活動計画について

当面は、委託作業の結果を待ち、その結果の評価とレビューの後、来春からドシメトリーファイルとして完成するための作業 (誤差のグラフ表示と評価者からのコメント収集、JAERI-M レポート作成、および縮約群定数作成用コードの準備) を継続することとした。

次回開催予定 昭和64年3月22日 (水)